

## 第5学年2組 算数学習指導案

令和5年6月15日（木）第4時限 5年2組教室

1 単元 小数のわり算（本時3／14）

2 本時の目標

わられる数と商の大小の関係について調べ、わる数の大きさによることを理解する。

（思考・判断・表現）

3 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (8)	1 4mで160gのホースの1mの重さを考える。 ・ $160 \div 4$ をすれば1m分の重さが出るよ ・重さ÷長さをしたら単位当たりの重さが出る。 2 P.56 1番を解く。 ・720よりは大きくなる。 ・わり算の性質を使えば式と答えが出る。	・4mで160gのホースの1mの重さを求めて見通しをもたせる。 ・単位量当たりの考え方が分かりやすいように言語化し、言葉の式を板書する。 ・数直線図と関係図を板書する。 ・児童が予想しやすいようにする実物を用意する。 ・式を作れない者に対しては言葉の式を参考にさせる。
課題 (2)	2 本時の学習課題を把握する。 わる数と商の大きさについて調べよう。	
展開 (30)	3 2番の問題を解き、気づいたことを書く。 ・1より小さい数でわったら答えが大きくなった。 ・数直線図の位置を見ると、1より大きい数でわると答えが小さくなることが分かった。 4 グループで気づいたことを、もとに空欄を埋める。 ・数直線図を見て、わる数が1より大きいとき、商はわる数より小さくなったことが分かったから、ここに入る数字は1じゃない？ ・わる数が1より小さいとき、商はわられる数より大きくなるから、ここはわられる数が入ると思う。 5 類似問題を解く。 ・大きくなる          ・小さくなる	・ワークシートを配布する。 ・式が作れない者に対しては整数の計算になる「お」から取り組ませるよう机間指導する。 ・答えの出し方でつまづいている子に対して、わり算の性質を振り返るようにする。 ・ワークシートに気づいたことを書くようにする。 ・数直線図を見て、答え（商）の大きさに気づかせる。 ・話し合いをする際に理由を言うようにさせる。 ・関係図を使って、説明している児童の意見をとり上げる。
整理 (3)	6 振り返りをする。 ・1より大きい数字でわると商は小さくなることが分かった。	・人数分の問題のフリップを用意して子供たちに商はわられる数より大きくなるのか、小さくなるのか答えさせる。 ・つまづいている児童に対しては、ワークシートを見て振り返るようにさせる。 ・わる数と商のことについてかけている児童を称賛する。

4 評価

わられる数と商の大きさはわる数が1より大きいかどうかに関係していることを理解できたか。

（活動4、5、6の様子から）